

# 新年賀謹



## 開かれた議会をめざして

甲賀市議会議長 <sup>ま と ば</sup> 的場 <sup>か ず と し</sup> 計利

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた平成27年の新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年中は市議会に對しまして格別のご指導とご厚情を賜わり誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私こと 昨年11月に議長の重責をお預かりいたしました。議会の第一の責務は「市民から直接選ばれた議員による市の意思決定機関」であります。9万3千市民の皆様よりの負託に應えて市民福祉の向上と市勢発展のため、誤りのない審議議決を成すために専心努力をいたす所存です。

今日、国の内外ともに大きな変革のうねりの中にあり、地方行政におきましても、地方分権が進み、自己決定・自己責任による自治体運営が求められるなど、行政の真価が問われる時代となっております。わが甲賀市におきましても、若年層の流出や高齢化が進む中、若者が定住する魅力あるまちをつくり、持続的で活力あふれる地域社会を実現することが、何よりも肝要であると思えます。

昨年市制施行10周年の節目を迎えた甲賀市が、市民憲章にあります「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を実現していくためには、今後10年、20年そして未来永劫、持続可能な「市民第一」の市政運営を心掛け、前進を続けていかなければなりません。私も市議会議員は、さらに政策立案能力を高め、問題意識を共有しながら課題解決に総力を傾け、職責を全うしていかなければならないと決意を新たにしているところです。

こうした中、昨年末には議会報告会を開催し、市民の皆様にご活動を知っていただき、様々なご意見を頂戴する機会を設けさせていただきました。議会報告会等の活動の一つのきっかけとして皆様と一緒にまちづくり、さらには政策提案に反映することができればと考えております。

今後開かれた議会をめざし、種々取り組みを進めてまいりますので、皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、平成27年が皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますよう議員一同心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



## 『理想郷・甲賀』へ全力で邁進

甲賀市長 <sup>な か じ ま</sup> 中嶋 <sup>た け し</sup> 武嗣

輝かしい平成27年が幕を開け、市民皆様には清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市政全般に渡り、格別のご理解、ご協力をいただきましたことを感謝いたしますと共に、この一年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私たちの甲賀市は、昨年、市制施行10周年という節目を迎えました。この間、いくつかの困難な局面を乗り越えながら、着実に基礎を固めることができたものと思っております。その上で本年は、10年先、20年先のより逞しい甲賀市に向けて、ギアを入れ替え、新たに力強いスタートを切らなければなりません。日本の中央部に位置する本市は、先人たちの作りあげた文明と文化の調和する理想郷にふさわしいまちであります。

今、日本が抱える課題は、数多くあります。特に、将来を見越したとき、地方の人口減少は、国力を維持していく上で大きな問題になってきます。全国の市町村は約1700あります。その一つでも消滅するようなことになれば、日本全体に影響を及ぼすことが心配されます。

本市のまちづくりも、人口減少問題を抜きにしては考えられません。既に、「甲賀市国づくりプロジェクト会議」を設置し、ポスト東京を念頭に、本市から全国モデルをつくっていくような気持ちで取り組んでまいります。高齢者福祉や子育て、教育や文化、雇用や産業、防災防犯など、全ての分野において、今ある制度の見直しや必要な制度の創設を含め、知恵を絞り、最も高い効果を生み出していかなければ明るい未来は開けない、という危機感をもって臨んでまいります。

私が目指す姿は、理想郷として市民幸福度の最大化を図ることです。人々が「生まれてよし」「住んでよし」「生きてよし」を実感できる『理想郷・甲賀』です。命を守る危機管理、徳のある人材育成、さらには豊かさの実感であります。自分の生き方を選択できる市民性を大切にしながら、その誇りと自覚を共有し、元氣いっぱい甲賀市のためにオールサイドの立場で9万3千市民のため、今年も全力で邁進してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様にとつて幸多き一年でありますことをお祈りいたします。